

連盟会長杯フィギュアスケート

アイビスSC 29日に発表会

柔らかい表情で演技する女子ジュニア選手権クラスの水越可菜



女子は華やかなコスチュームに身を包み、男子はりりしいでたちでリンクに登場。それぞれ曲に合わせて、ジャンプ、ステップ、スピンを繰り返し、華麗に銀盤を舞った。

大トリ、最上位クラスの選手権男子には今



片足を持ってスピンする女子ジュニア選手権クラスの渡部のぞみ

県スケート連盟会長杯フィギュアスケート・フリースキートイニング大会が十五日夜、リージュンプラザ上越アイアリーナで行われた。地元上越のアイビススケートイニングクラブを中心に選手三千八百人が出場した。

銀盤に華麗な舞

年のインターハイで八位入賞した渡部幸裕(アイビスSC、開志学園三年、直江津東中)が、初めてシニア用のプログラム(4分30秒)で出場した。最初のトリプルルッツを成功させ、中盤のトリプルサルコーダブルトリーループなどを



演技中盤でジャンプを決める男子ジュニアAクラスの菅原生成



きれいなスパイラルを見せる女子ジュニアAクラスの川住純菜

無難にまとめた。フラメンコの曲に乗せたステップも鮮やかで、本人も「うまくできた」と納得の演技だった。「来季はトリプルアクセル(三回転半)を目指す」と、より高度なジャンプに挑戦する。アイビスSCは二十九日午後五時三十分からリージュンプラザ上越で発表会を行う。観覧無料。

大会結果は後日掲載。